



われらの金池

10月25日秋季大運動会の成功に向けて

9月に入ってもまだまだ残暑厳しい毎日でしたが、秋分の日頃を境に、朝晩が涼しく感じるようになってきました。休み時間も運動場で遊ぶ子どもたちの姿が戻ってきました。中には教育実習生と遊ぶ子どもたちもいます。実習生は4週間の現場実習を10月3日に終え、また大学へと戻っていきます。実習生には、この経験を生かして、是非とも教員になり子どもたちの学びを支え、高めたい存在として活躍してもらいたいと思います。



さて、9月29日より、本格的に運動会練習が始まりました。10月25日の本番で各自の最大限の力が発揮できるように、指導、支援しながら、心身の「たくましき」の獲得を目指してまいります。また、応援団長立候補者の決意表明で、「体育発表会」という言葉が多く聞かれましたが、今回は、「運動会」ですので当然、赤白の勝敗が最終的に決まります。敗者も結果を受け入れ、次に向かうことも「たくましき」につながります。最初は張り切っていても、うまく技が覚えられない、思うような順位で走れないなど、

壁にあたり、めあて達成をあきらめそうになることがあるかもしれません。そんな時は、家族、先生、友達などに相談し、解決に向けて再び顔を上げて頑張ってもらいたいものです。つらいときに、そのつらさを話せることも立派な「たくましき」です。運動会本番当日は、どうぞ応援をよろしくお願いします。



【 上中校区 3つの挨拶ルール 】

8月6日に、児童会、生徒会の交流会で、上野ヶ丘中、金池小、長浜小の3校代表が活発な協議を行いました。挨拶を、共通した取組で実施しようとなりましたので、紹介します。

《①会釈 ②目を見て ③場に応じた声》

2学期に入り、朝の交通指導の際、小中学生に会いますが、この3つの挨拶ルールが徹底されてきたと実感できます。家庭、地域においてもこの3つの挨拶ルール、取り組んでみませんか。

【 「親切、思いやり」を形に 】

1日朝、校区内在住96歳のお年寄りの方から、おはがきが届きました。内容は、手押し車で横断歩道を渡っていた際、ふらつきながら渡る様子を見て、5年生男児が手を添えて横断歩道を渡り切るまで手助けしてくれたとのこと。道徳等で、親切、思いやりについて学んでいますが、それを実践できることは本当に素晴らしいことと思いました。

【 夏休みを経て… 】

夏休みの経験(宝物)を糧に、前向きに頑張る子どもたちですが、逆に夏休みをきっかけに、休日に気になる行動をとる子どもたちも見受けられます。いくつか事案を掲載しますので、今一度、生活のきまりや家庭でのルール等、お子さんと話し合ってほしいと思います。

▲子ども同士で校区外やゲームセンター等に出かける。

▲カード購入等に多額のお金を使う。カードを換金するために頻繁にお店に出入りする。

▲お菓子や飲み物など、「おごり、おごられ」を繰り返す。

▲朝早くから友達の家にあがる。等々

「ん?」と思ったら断る勇気も「たくましき」です。

子どもたちの発達の段階に応じてですが、「手を離さず、目を離さず、心を離さず」に自立まで成長を支えていきたいものです。